

「会支える蒲原さん燃える創作意欲」

2月8日(木)、蒲原さん(電気38年)が所属する「等迦会」の作品展(国立新美術館)へ行ってきました。「等迦会」は全国に支部を持つ権威ある美術集団です。

メンバーは蒲原さんの会社先輩で前会長の坂本さん(電気31年)、現副会長の吉田さん(電気39年)、蒲原さん、坂本さんの元職場上司の橋本さん(室蘭出身)と協力会社元社長の田中井さん(北海道ふるさと会連合会理事)と駒米の6人でした。

蒲原さんはこれまで北海道の海をテーマに作品を発表していましたが、今年は青森下北半島の海辺の船とし漁師さんの小屋、そして自転車がさり気なく描かれておりました。構図、筆遣いは流石この会の前事務局長です。今年も実質会を支える貴重な存在でした。



蒲原さんの力作「北の港」

蒲原さんの作品と蒲原さんを囲んで5人が記念撮影しました写真を掲載します。



蒲原さん・駒米

橋本さん・坂本さん・吉田さん

一通り鑑賞した後、近くのレストランで昼食を取りながら作品の感想、展覧会について話が弾みました。蒲原さんは精力的に作品を発表しながら、会の実質運営をされており、芸術家魂を感じました。

4月は坂本さんの主催するグループの発表会が東上線志木駅直結の「にいざほっとぷらざギャラリー」で開催されますので、ぜひ足を運ばれてください。

5月には雨野さん(電気34年)の主催する写真展が東上線霞ヶ関(埼玉県川越)の川越西文化会館でありますので、ぜひ足を運ばれてください。

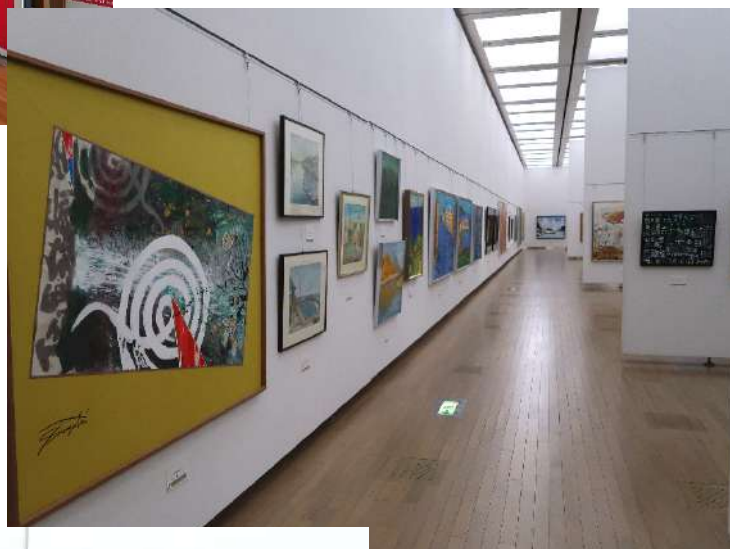
この日は好天に恵まれ、身も心もワクワクした1日でした。

(前副会長・駒米隆記)



◀ 受付

出展作品の一部 ▶



◀ 左から：田中井さん
蒲原さん
橋本さん
坂本さん